

新たに発見された「マンモスゾウ臼歯化石」について

令和6年4月26日（金）、午前7時頃、野付半島ネイチャセンター付近外海にて、ホタテ漁をしていた第八海星丸の^{あだちはやと}安達隼人さん（別海町尾岱沼）が、マンモスゾウの臼歯化石を発見し、令和6年5月13日（月）別海町郷土資料館に寄贈された。

令和6年5月26日（日）、これまで町内で見つかった臼歯化石の鑑定・研究を行なった滋賀県立琵琶湖博物館名誉館長の高橋啓一氏による肉眼鑑定と年代測定のための試料採取を実施した。

- ・ 鑑定結果「マンモスゾウ（臼歯化石）右上顎第1大白歯」
- ・ 採取した試料により年代測定を依頼中、結果は、7月下旬頃。
- ・ 今後は、高橋啓一氏、添田雄二氏（（幕別町教育委員会・忠類ナウマンゾウ記念館学芸員）らと共同研究を進める。
- ・ 令和6年6月5日（水）より別海町郷土資料館で展示公開。

今回の発見によりマンモスゾウの臼歯化石は、国内で15個目、根室海峡では6個目、野付半島外海で4個目（当館所蔵）となった。

